

もしも、こんな電池が実用化できたら

～ 実現するための材料技術研究 ～

蓄電池は再生可能電力の貯蔵や電気自動車をはじめとする移動体の電動化等でますます需要が高まり利用分野も広がっています。増大し多様化する社会ニーズに応えるため、従来の電池とは異なる新しい電池を開発しようとする研究が活発に行われています。特に新電池を構築し実用化に導くには、電池に使う材料技術の進化や新材料開発が鍵になります。産総研では電池材料技術に関する種々の試みを行い、従来の技術課題を乗り越えた新電池を実現するための研究開発を行っています。本フォーラムでは正極活物質に空気を利用する革新的なリチウム-空気二次電池の研究を活発に進められ、この分野を先導してこられている三重大学 今西誠之教授に基調講演いただくとともに、産総研における電池材料開発に関する研究成果について、従来の電池と何が違うのか、技術はどこまで進んできているのかについてご報告致します。

日時：令和 **3** 年 **1** 月 **29** 日（金） **13:30** ～ 16:50

開催方法：**オンライン開催**

Microsoft Teams ライブイベントを使用

Web ページを閲覧できるパソコン、タブレット、スマートフォンで視聴できます。



主催 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 関西センター

後援 近畿経済産業局 大阪商工会議所 (一財)大阪科学技術センター
(予定)

産業技術連携推進会議 環境・エネルギー部会

協賛 電気化学会関西支部
(予定)

参加費 **無料**

参加申込 締切 令和3年1月26日（火）

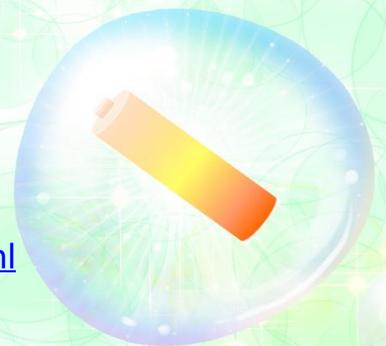
<https://www.aist.go.jp/kansai/ja/news/e20210129.html>

問合せ先 第6回電池技術研究部門フォーラム事務局
(産業技術総合研究所関西センター 産学官連携推進室内)

M-riecen2020-ml@aist.go.jp

TEL: 072-751-9004

最新情報は右記にてご確認ください。 <https://www.aist.go.jp/kansai/>



もしも、こんな電池が実用化できたら

～実現するための材料技術研究～

WEB開催

プログラム

13:30 質問方法等御説明

13:35 開会挨拶

産業技術総合研究所

関西センター 所長 角口 勝彦



13:45 来賓祝辞

経済産業省 近畿経済産業局

地域経済部長 矢島 秀浩 様

13:55～14:55 **基調講演**

「空気を利用する電池技術の進化」

三重大学 大学院工学研究科 分子素材工学専攻

教授 今西 誠之 先生



14:55～15:10 コーヒーブレイク※☕

(※コーヒーはお出しできません)

15:10～15:40 研究紹介

「固体でも液体でもない電解質 -有機イオン性柔粘性結晶-」

産業技術総合研究所 電池技術研究部門

エネルギー材料研究グループ 松本 一



15:40～16:10 研究紹介

「ナトリウムの安全な電池利用を可能にするチタン系負極酸化物」

産業技術総合研究所 電池技術研究部門

ナノ材料科学研究グループ 橘田 晃宜



16:10～16:40 研究紹介

「硫黄と炭素・窒素・酸素だけからなる電極活物質SPAN・SPEG」

産業技術総合研究所 電池技術研究部門

電池システム研究グループ 妹尾 博



16:40～16:50 閉会挨拶

電池技術研究部門 研究部門長 安田 和明

